

進木

進木【すぎ】・・・『杉』の語源。ぐんぐんと上に向かって、まっすぐに進む木の様子。



第11号

2024年10月 発行

1年の折り返し地点 ～Part2～

「学年・クラスの繋がり」



文化祭・体育祭が終了しました。クラスや学年の雰囲気はいかがでしょう？自分の役割を果たし貢献する姿、人と繋がることの素晴らしさを美観している姿、全力で取り組むなかで喜び・悔しがる姿、達成感に浸る姿...すべての姿が輝いていました。一人一人が大きく成長することができました。この貴重な経験をこれからの学校生活にどう活かしていくか、どうさらなる成長に繋げるか、大切な時期です。「羽ばたけ！杉中生☆」

9月に3年生が「いじめ防止推進授業」を行いました。みなさんの【振り返り】を交流します。

- ① 「いじめ」をなくすために『あなたができること』・『クラスができること』 **表面**
- ② 『本時の感想』 **裏面**

定期的に今自分感想、やることや感じていることを交流する機会を取る。このようないじめについて考える授業をしてもらう。いじめ防止の大切さを一人一人が理解する。

いろんな人がいることを常に思えば、すぐに感情的にならないう。苦しみあはれあはれを。考えてから行動。

いじめは、自分がしていると思っていなくても相手にとってはいじめと捉えられることがあるから、普段から気をつけて行動・行動など、いじめと捉えられないようにするのが大切（特に友達になっただけかなど）ややこしいことはしないう！！

人と人との関わりを大切にしたり、仲の良かった同士がいじめ、いじめられるという関係にならないから、「親しい仲にもれはあり」というのを大切に接することを心がけたらいい。



いじめは絶対に許さない！他人事にしない！目をそらさない！

みなさんからの強い“想い”を感じました。一人ひとりの意識が学校を幸せな居場所にできます。

いじめをして、いいことなん？一つもないと思うので。しっかり、自分がしていいことと悪いことを見習って見返すように思っ。自分加えていいことは相手もいぶかと思うので。そのことをいじめたためにおいと思っ。

いじめが起こるような雰囲気にならないように仲良くする。いじめあつと傷つけ合いの線引きをしっかりと、度が過ぎるときは率先して皆が止めに入ること。

仲良くする。嫌いな人と逆に友達になる。相手からして嫌いな事もしない。人の心をもつ

もしもいじめをしていることを知ったときに、直接止めることができなかつたとしても、友達や先生に相談するなど何か行動を起こしそのままにしておくことが絶対にないようにする。

- ・クラスで上下関係を作らない。
- ・差別しない。
- ・平等に接する。
- ・助け合う
- ・思い合う
- ・仲良くする

いじめの防止ポスターを作って、いじめを未然に防止する。

一人一人がそれぞれの個性を理解して意見を尊重するよう心がけること。誰かの失敗を笑ったりしないで、その失敗をみんなが支えたり乗り越えられるように協力すること。

「やめろ」ということをほめて褒めて、いじめを助けている人の球が壊れるようにする。

「いじめ」は相手が「いやだ」と思。たがなので気がないパターンもあると改めて分かり、相手の気持ちを考えたが会話したりして聞えることが大切だと思。た。また、**友達だから**というノリも、相手にすれば嫌な思いをしてみようと思。うのでそういう雰囲気やノリにまかせた行動は止めようと思。った。



「いじめ」を生まない雰囲気づくり 「いじめ」はみんなで解決する

「いじめが起らないように」「自分が何を意識してどう行動すべきか、
「いじめが起ったときに」「自分が何に気付きどう行動すべきか、
“自分事”として考えることができました。

同じ事でも伝え方によって印象が変わるというのを改めて感じたので、**感情のまま伝えるのではなく思いやりを持って発言しよう**と思。った。

自分がさ中下一なことを自分の力で解決する人もいいけれど、
ほとんどウ人は言うことだけでいいから、**早くに助け舟を出せるような**
環境づくりや、そんなことができるとい人にならなるといいなと思。った。

いじめに直接関係してなくても、**自分がいじめられたくないからと見ているだけとかかわらうだけ**と
助けようとしないのはいじめているということになりから勇気を出していじめを注意することは大切
だと思。った。

いじめは様々な事例があって多くは一人が重カいても
変化するのので多くの人が**「良い方向に解決しようとする**
姿勢が大事だと思。った。**いじめは全員で解決するもの**
だと分かった。

「いじめ」の定義について考えてみて状況によっては判断が難
しいときもあるけど**どんな場合でもまわりの人が傷つくようなこと**
はしてはいけないということをも改めて感じました。これからの生活
では相手が傷つかないか考えて行動していきたいです。

いじめをなくするには一人一人が少し意識するだけでいいと思。うのに
いじめがなくなるのはなぜか不思議に思。った。いじめをなく
するのには、自分は絶対にいじめをしないし、いじめを見たときは
声をかけらうと思。った。**下も手をかけるのはすずかしいと思うので**
みんながいて、雰囲気をつくるのが大切だと思。った。

今日は、具体的に考えたり、自分は「ぶんでさないうい」思。うことが
77から、少し難しさが、1に、1に、17のことで「これはいじめだ」
と「いじめられてる」を思。うのははやく、いかに可能性を
考えたり、**友だちも信じて早くに他人に言われたことを信じて**
いかに大切に思。う。